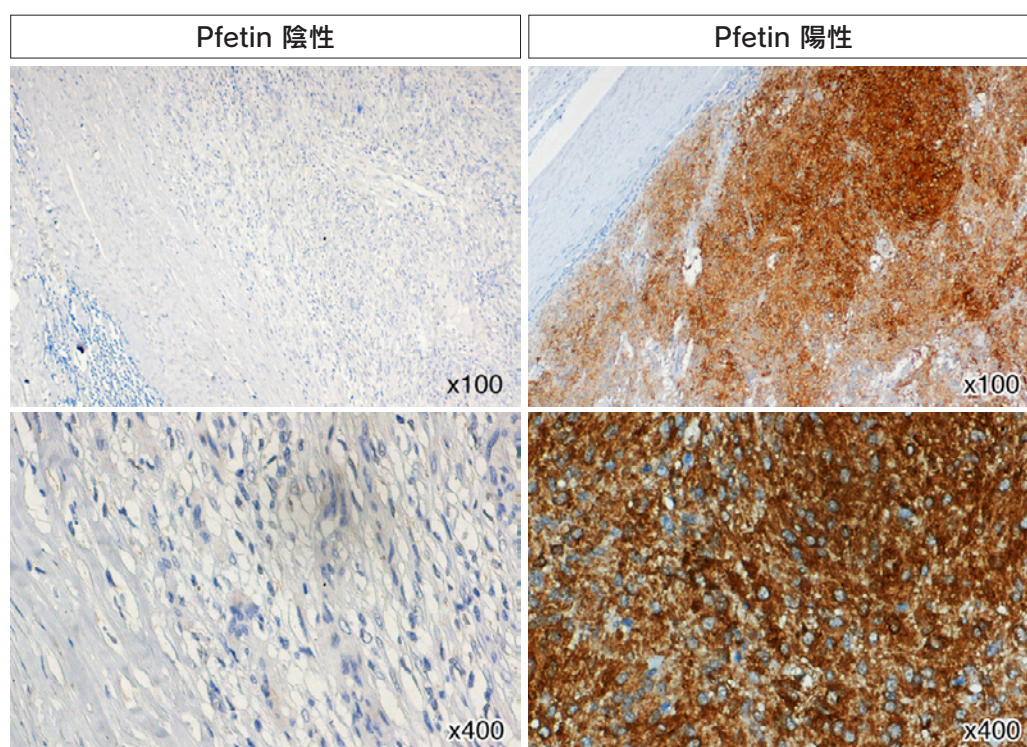


Pfetin 検出試薬

Anti-Pfetin (Human) mAb

Pfetin の発現や機能、消化管間質腫瘍の予後予測に関する研究にご利用いただける病理染色用抗体です。

■ Immunohistochemistry (FFPE, antibody concentration 1 μ g/mL)



ヒトGIST初期腫瘍組織

茶色：Anti-Pfetin (Human) mAb (Code No. D348-3)

青色：ヘマトキシリン染色

写真提供：独立行政法人国立がん研究センター研究所 創薬プロテオーム研究分野 近藤 格 先生

Code No.	製品名	クローン	アイソタイプ	使用法	包装	価格(税別)
D348-3	Anti-Pfetin (Human) mAb	10-4	Mouse IgG2bk	WB, IH	100 μ g/100 μ L	¥60,000

WB: Western Blotting, IH: Immunohistochemistry

Pfetinとは

「Pfetin (フェチン)」または「Potassium channel tetramerization domain containing 12, KCTD12」と呼ばれるタンパク質は、難聴の原因遺伝子を探索する過程で胎児の蝸牛に高発現する遺伝子として発見され、その配列からカリウムイオンチャンネルの構造をもつことが明らかとなっています。また、最近の研究では Pfetin が GABA-B 受容体の補助的なサブユニットとして機能し、シグナル伝達に関わることも報告されています。

PfetinとGIST

GIST (消化管間質腫瘍: Gastrointestinal stromal tumor) は、疫学的に 100 万人あたり 11~20 人程の発症率といわれており、消化管にできるもっとも頻度の高い肉腫です。日本では切除不能または再発の GIST 患者数は年間 1,000~1,500 人とされています。

しかし、GIST の発症機構は明らかになっておらず、有効な予防法は今のところありません。また、臨床的に多様性に富んでおり、予後良好な症例から、転移し死亡する症例までさまざまです。一方、GIST の分子背景には共通の遺伝子異常が存在し、80%以上の GIST 症例においてチロシンリン酸化酵素である Kit や PDGF 受容体 (PDGFR) に変異・過剰発現が認められるとの報告があります。近年、Kit 陽性の GIST 症例に対しては、分子標的薬であるイマチニブ、スニチニブ、レゴラフェニブによる治療が行われております。また、予後を予測して治療を行うことの重要性が非常に注目されています。

GIST のリスク分類は、腫瘍細胞の核の分裂像と腫瘍の大きさを元に行われていますが、確実に再発を予測することはできていません。そこで、より正確に予後を予測診断するためのバイオマーカーが求められています。

本品を用いた臨床研究において、Pfetin を高発現する GIST 症例では術後の再発率がきわめて低く、逆に Pfetin 低発現症例では再発率が高いことが示されました。今後、Pfetin と GIST の予後との関係性について、抗 Pfetin 抗体を用いた研究が進むことが期待されます。

参考文献

- 1) Kubota D *et al.* Validation Study on Pfetin and ATP-dependent RNA Helicase DDX39 as Prognostic Biomarkers in Gastrointestinal Stromal Tumour. *Jpn J Clin Oncol* 42, 730-741 (2012)
- 2) Kubota D *et al.* Pfetin as a prognostic biomarker for gastrointestinal stromal tumor: validation study in multiple clinical facilities. *Jpn J Clin Oncol* 41, 1194-1202 (2011)
- 3) Kikuta K *et al.* Pfetin as a prognostic biomarker in gastrointestinal stromal tumor: novel monoclonal antibody and external validation study in multiple clinical facilities. *Jpn J Clin Oncol* 40, 60-72 (2010)

販売元

MBL 株式会社 医学生物学研究所

<http://ivd.mbl.co.jp/>

<本社>

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目5番3号 KDX名古屋栄ビル10階

TEL : (052) 238-1901 FAX : (052) 238-1440

E-mail : kensa@mbl.co.jp

ご用命・お問い合わせは

札幌	TEL : (011) 717-6547
首都圏統轄	TEL : (03) 5248-2861
名古屋	TEL : (052) 238-1960
大阪	TEL : (06) 6305-2039
福岡	TEL : (092) 481-0530
市場開発グループ	TEL : (03) 5248-2862